

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		オリーブハウス（児童発達支援）				公表日	2025年 4月 30日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・プレスクルームを設けミニテーブルや椅子、絵本や玩具などで部屋を工夫している。 ・療育内容により部屋を使い分けている。 ・小人数のため適切である。 ・状況に応じて、一階と二階に分けスペースを十分確保している。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	・マンツーマンで対応している。 ・職員の欠勤が出た場合は職員配置が少なくなるため、同法人から応援要請をして人員を補充している。 ・小人数のため適切である。	急な職員の欠勤の際の職員の確保の課題と各職員のスキルアップが必要な為、研修等でスキルアップを目指していきます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	・常階段の昇降、トイレ誘導など常に大人と一緒に行動するようにしている。 ・こどもが個室を使用する場合2階に上がらなければいけない。 ・バリアフリー化はされていないが、トイレや階段に手すりをつける等の工夫をしている。 ・子ども達が見通しを持てるようにホワイトボードに1日の流れを記入していたり、ロッカーには個々の名前を貼り分かりやすくしている。 ・バリアフリー化はされていないが現利用児には問題なく過ごせている。 ・学習部屋は目につくものが少ないよう整理し集中の妨げになるものは少なくしている。	見直しを行い可能な限り配慮を行っていきます。環境面でバリアフリーではない所は、子ども達が社会の中で日常生活を送るうえで、自己防衛力等の練習の場になるように活用していきたいと思います。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎日の掃除、消毒を行い、子ども達が過ごしやすいように活動内容に合わせて室内の机やおもちゃ箱の配置を変更している。 ・こどもの状況に合わせて空間を区切ったり工夫を行っている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・状況によってクールダウンスペースや個室の学習室を使用している。 ・状況に応じて、カーテンで仕切られた場所や2階の個室が使用できる環境にある。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・毎日の申し送りや会議等で振り返りを行い、業務改善や情報の共有をしている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・保護者の評価表をもとに意見を参考に業務改善に繋げている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・毎朝の申し送りや定期的な会議・面談等で意見を把握し業務改善に繋げている。また日常の会話の中でも職員間で意見を言い合える環境になっている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20%	20%	・第三者評価は行っていない。	第三者評価は実施しおりませんが、今後も保護者様からのご意見から業務改善に繋げていきます。			
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	80%	0%	・定期的に外部研修を受けている。 ・参加できない職員は動画配信で後日研修を受講している。					

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	60%	20%	・作成し公表済みです。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・児童と保護者様に聞き取りを行い、課題等を分析して計画を立てている。 ・チームで支援者会議を行い、管理者が児童発達支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	80%	0%	・職員の意見もしっかり反映された支援計画になっている。 ・児発管だけでなく支援に関わる職員の意見を取り入れ作成している。 ・チームで会議を行い検討している。 ・職員からの意見も聞いた上で支援計画を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・支援計画は全員が把握し、支援を行っている。またいつでも確認出来るようになっている。 ・支援に関わる職員が計画内容を把握し計画に沿った支援を行っている。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	0%	・ニーズの整理表を使用している。 ・日々の行動観察はケース記録に残し、アセスメントで使用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・個別支援計画の各項目に沿った計画を設定している。 ・年2回の面談前にチームで支援会議をし、具体的な支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・職員間で話し合い立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・チームで話し合い、個々の発達に応じて固定化しないよう工夫している。 ・子どもが興味を引く物を療育内容に組み入れるなど工夫をしている。		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・子どもの状況に合わせて計画を立てている。 ・個々の発達に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・支援開始前には必ず打ち合わせをし、チームで連携して支援を行っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・送迎後や翌日の申し送り時に振り返りを行っている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・ケース記録に記録し、検証・改善につなげている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・年2回管理者がモニタリングを行い、適切な見直しを行っている。		
	関係	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	0%	・基本的に管理者が参加しているが、参加前に職員へ聞き取りを行っている。	
		25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	60%	0%	・協力医療機関等と連携が取れるように体制を整えている。 ・連絡会を通じ、今年度教育、福祉、子育ての行政機関との話をする懇談の機会を頂きました。今後も体制作りのための、関係作りを行っていきます。	
		26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60%	20%	・利用前に通園されている保育園等を訪問させていただき、利用児の情報をお聞きした上で支援計画の作成をしている。 ・保護者を通しての共有はある。	利用前に通園されている保育園等を訪問させていただき情報共有をさせていただいていますが、情報共有が出来る機会が少ないのが現状であり今後の課題です。
		27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	40%	40%	・法人の代表や管理者が行っている。	現時点では移行先である学校との情報共有が出来ていないのが現状であり、課題です。
		28	(28～30は、センターのみ回答)				

機 関 や 保 護 者 と の 連 携		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	60%	20%	・研修等に参加をし助言を受けている。 ・法人の代表が助言を受けている。	連絡会等を通じて、センター主催の研修に参加をさせていただき講師の方から質疑の中で助言受けましたが、個別のケースなどに対してのスーパーバイズを頂けるような機会や連携が取れていないのが課題です。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	40%	20%	・幼稚園等との交流はないが地域の方を事業所のイベントにご招待をして交流を図っている。	夏祭りを開催し地域の方を招待し、交流する機会を作りました。今後も地域のお子様にも参加して頂けるイベントの開催等を引き続き行っていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・送迎時や連絡帳にてご様子をお伝えしたり、面談を通してお伝えさせていただいている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	0%	・家族が参加できる研修の機会や情報提供を行っている。今年度は性教育講座を外部講師を招き年間計画で実施しました。	来年度も学習会や講演会を開催する予定にしています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に説明させていただいている。今後も丁寧に説明していくことを心がけていく。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・アセスメントをとって子どもや保護者の思いを聞き取っている。 ・年2回の面談で意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	・同意を得ている。必要であれば内容の変更も行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・年2回の面談とその他必要に応じて行っている。 ・保護者様から相談があれば助言や支援を行い適切に対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	80%	0%	・年2回ほど保護者会を開催し、保護者様同士の交流の場を提供している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・日頃から、相談や面談の申し入れがあれば適切に対応している。	相談の発信がしにくい方もおられるので、こちらからのお声がけなど、配慮が必要だと感じています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・インスタグラム等を通じ、活動の様子をお知らせしています。	情報を更新していくことが課題だと感じます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	80%	0%	・夏祭りを実施し、今年度初めて地域住民を招待した。	参加頂く方たちをどのように把握するかなど、安全面の確保などが課題。今回はあまりご参加いただけなかったため、どのくらいの範囲で告知していくかなど検討課題。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・防災訓練、避難訓練は定期的に行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・職員間で情報を共有し、適切に対応している。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・保護者より指示を受け対応している。 ・現在対象児童はいないが在籍の時は対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・日々、子どもの行動を把握し、安全に配慮している。安全計画を作成し、保護者がいつでも確認できるように公開している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・申し送り等で行っている。 ・毎月ヒヤリハットの見直しをし再発防止を考えている。虐待防止委員会の中でも共有し、法人内でも把握している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・定期的な研修に参加する機会がある。 ・当日参加できない職員は動画配信で必ず人権擁護の研修は受けるようにしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	・現在、身体拘束が必要な児童はいない。 ・対象児に対しては管理者と共に決定し同意を得たうえで記載している。	手をつないで買い物に行くなど、どこまでの範囲で同意書が必要なのか、検討中である。